

第48回県民芸術祭参加事業
県民音楽のひろば



[指揮]
高関 健 (群響名誉指揮者)
Ken Takaseki



[ピアノ]
ニウニウ
Niu Niu

群馬交響楽団

クラシックコンサート

in 富岡

「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録10周年記念

2025
2.2 [日]
開場 13:00
開演 14:00

Program

- 上田素生 作曲
「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録10周年記念
オリジナル委嘱作品
- チャイコフスキー 作曲
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
- ブラームス 作曲
交響曲 第1番 八短調 作品68



富岡市かぶら文化ホール

料金：一般 **3,300円** 友の会 **3,000円** **全席指定** 【当日各500円増】

※未就学児の入場はご遠慮ください。※前売券完売の場合は、当日券を販売いたしません。

文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

18歳以下の子供たち限定

無料ご招待

【108名】

- 子供用チケット（18歳以下の方）無料、子供と同伴の保護者半額で提供します。
- 同伴者は子供1～2人に対して1名、子供3～4人に対して2名まで同伴可。



お申込みはこちらから

チケット発売日

ホール 一般 2024年10月20日(日)
友の会 2024年10月14日(月・祝)

※窓口販売は、9:00から。
※電話受付は、発売初日に限り13:00から。
※車イス席をご希望の方はチケット購入時にお申し出ください。

チケットぴあ 2024年10月20日(日) 10:00～

- インターネット販売：<http://pia.jp/> (※PC・スマートフォン共通)
- 店頭販売：セブン-イレブンマルチコピー機にてお買い求めください。

注意事項

カメラ・ビデオ、スマートフォンなどでの撮影・動画配信などは禁止しています。出演者、曲目は、やむをえない理由で変更になる場合がございます。

主催：富岡市・群馬県・公益財団法人群馬県教育文化事業団
後援：群馬県教育委員会・第48回県民芸術祭運営委員会
問い合わせ：富岡市かぶら文化ホール TEL 0274-60-1230

高関健 × ニュウニュウ × 群響 × 富岡

高関健群響名誉指揮者と、神童として世界を沸かせ、「ピアノの森 (NHKアニメ)」の演奏でも話題のニュウニュウが共に富岡に登場！群響と名演を是非、ご期待ください。

Profile



©K.Miura

高関 健 Ken Takaseki

国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィル常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者。サンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会で聴衆や楽員から大絶賛を受けるなど海外への客演も多く、世界的ソリストや作曲家からも絶大な信頼を得る、緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。

新国立劇場での團伊玖磨「夕鶴」、ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー「イオランタ」、ウラジオストクとサンクトペテルブルグでの「夕鶴」等オペラでも作品の魅力を存分に伝え高い評価を得ている。

1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝。

第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞等を受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど幅広い活躍を続けている。

■ X (旧twitter) @KenTakaseki



©Paul Tsang@UN Workshop

牛牛 (ニュウニュウ) Niu Niu

1997年中国生まれ。史上最年少8歳で上海音楽院に入学し、ニューイングランド音楽院等を経て、2018年名門ジュリアード音楽院卒業。ピエロフラウヴェク、カスプシク、ズヴェーテン、佐渡裕、大友直人、飯森範親ら名匠の指揮で、ワルシャワ国立フィルハーモニー管、チェコ・フィルハーモニー管、香港フィルハーモニー管、読響、兵庫芸術文化センター管、京響などと共演。

10歳の若さで旧EMIクラシックスと専属契約を締結し、2017年新たにユニバーサル・ミュージックと専属契約を交わし、「リスト：ピアノ・ソナタ ～ヴィルトゥオーゾ&ロマンティック・ピアノ作品集」をリリースし、レコード芸術で特選盤に選ばれた。2024年4月には「チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番、交響曲第6番《悲愴》」のライブ録音CDをリリース。

2018～19年にNHKで放送され、現在もNetflixで独占配信中のTVアニメ『ピアノの森』では、天才中国人ピアニスト＝パン・ウェイの演奏を担当した。

群馬交響楽団 Gunma Symphony Orchestra

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2023年度までに延べ650万人を超える児童・生徒が鑑賞し、1982年からは高校音楽教室も開催されている。

1981年から群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。

2003年NHKテレビ番組「プロジェクトX～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、2004年に天皇皇后両陛下、デンマーク女王陛下同王配殿下をお迎えしての移動音楽教室を開催している。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。

また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎える。



- 1966年 「朝日・明るい社会賞」
- 1983年 文部大臣「地域文化功労者」団体表彰
- 1989年 第11回山本有三記念「郷土文化賞」
- 1994年 「日本文化デザイン賞」
- 1995年 「第4回日本生活文化大賞特別賞」
- 2003年 日本放送協会「関東甲信越 地域放送文化賞」受賞
- 2017年 県民芸術祭40周年記念表彰
- 2021年 サントリー地域文化賞受賞